

1 乳がん検診

マンモグラフィ 40歳以上の女性・2年に1回

高知県の女性に 最も多いがんは乳がんです。

● 検査項目

マンモグラフィ

マンモグラフィ撮影では、乳房を左右片方ずつ、フィルム台とプラスチック板とではさみ、圧迫して撮影します。乳房の圧迫は多少の痛みを伴う場合もありますが、より良い画像を得るために必要です。40歳代は2方向、50歳代以降は1方向撮影となります。



● 毎月しっかり自己触診

乳がんは他のがんと違い、自分で乳房自体を見たり触れたりできるため、自分で早期に発見することも可能です。定期的な乳がん検診の受診と併せて、月に1回程度、乳房をチェックする習慣をつけましょう！

見てチェック!

乳房を鏡に写し、両腕を上げたり下げたり上半身を左右にひねったりして乳房全体を見ます。



触ってチェック!

起きた状態や仰向けで、しこりや腫れがないか手で触って調べます。



検診医による検診のススメ

高知県健康寿命管理指導協議会乳がん部会 部会長 山川 卓



現在、高知県および日本において、女性に最も多いがんは乳がんです。乳がんにかかる方、亡くなる方は年々増加しており、今12人に1人の女性が乳がんになると推定されています。この乳がんに対し、“乳がん死を減少する”ことが科学的に証明された唯一の方法がマンモグラフィ検診です。皆様、乳がん検診を受けましょう。